

# 障害福祉サービス事業所(共同生活援助) グループホームもとあさ

## 令和 7 年度 地域連携推進会議 議事録

開催日時: 令和 7年 6 月 24 日 火曜日 14:00~17:00

場所: 障害福祉サービス事業所(共同生活援助) グループホームもとあさ

出席者: グループホームもとあさ利用者代表 1 名

グループホームもとあさ利用者家族代表 1 名

地域住民代表 1 名(元浅草三丁目町会長様)

台東区役所福祉部障害福祉課職員 2 名

グループホームもとあさ管理者

グループホームもとあさサービス管理責任者

会議内容:

### 1.会議開会の挨拶・主旨説明

初めての会議ではあるが、グループホームもとあさと元浅草三丁目町会が関わりを密にする契機としたい。

### 2.構成員紹介

1 人ずつ自己紹介をいただいた。

### 3.グループホームもとあさより

#### ①事業所紹介・事業報告

管理者より、運営母体・共同生活援助・事業概要・事業計画・地域と連携して解決したい課題についてそれぞれ説明を行ない、構成員と共有した。

#### ②サービス提供(利用者の生活・権利擁護の取り組み等)についての報告

管理者より、利用者の生活の様子や支援内容、虐待防止委員会および成年後見制度利用推進について報告した。

### 4.元浅草三丁目町会より

町会長様より、元浅草三丁目町会の概要および年間行事について報告いただく。年間行事では防災訓練・鳥越まつり・ラジオ体操・歳末夜警の行事への参加をお知らせいただいた。

### 5.意見交換

(1)資料等の表記は、「障害」ではなく「障がい」としてほしい。

→台東区関係者間でも数年前に議論されたが、「障害」と表記することで話がまとまった。

(2)通所先の作業所では、以前はパンの仕込み作業をしていた。現在は軽作業中心で仕事している。今まで GH 間の引っ越しを多くしてきた。若い頃はお祭りの神輿を担いだこともある。

(3)将来を見据えて自立を目指すために GH の入居を決め、子どもが入居して 1 年経つが、共同生活を通して自律心や協調性が芽生えてきたように思う。洗濯物干しも上達してきているように感じている。

→運営母体の法人では体験利用事業を行っており、利用者が GH 入居に結び付いているケースが多い。時間をかけながらもいいので、共同生活に慣れていってもらえたらと思う。

(4)個別支援計画の内容はたとえばどのような内容を設定しているのか。

→例として、ストレッチ・週末のウォーキング・休日の外出活動への参加などが挙げられる。

GHの生活が充実するような利用者の希望する計画内容を中心に策定している。

→休日の昼食は、休日の楽しみの一環として利用者と外食やコンビニに同行し対応している。

(5)10月にグループホーム主催でオープンハウスを予定している。開催日時と内容が決まったら町会長様を通じて回覧板等で町内会全体へ周知したい。

(6)虐待防止委員会外部委員の第三者委員(民生委員)はこの地区の担当者か。

→第三者委員の民生委員の方はこの地域の方ではなく区内の方で協議会にも所属している。

第三者委員は民生委員の方の他にも、高齢者福祉施設の管理職の方が就任されている。

(7)利用者の高齢化が進んでおり、日中の場の変更を中心に対応を進めている。

(8)町内会のサポーターに利用者と職員で登録をしたいと考えている。

→鳥越まつり期間の朝の山車ひきやラジオ体操であれば、気兼ねなく参加いただけると思う。

## 6. 見学

グループホームもとあさ施設内見学および利用者交流を実施した。また、たいとう第三福祉作業所内の見学も併せて行なった。

以上